

令和7年度 通信教育実施計画					
学年	学期	コース	教科	科目	単位数
1	後期	週1	外国語	英語コミュニケーションⅠ	2
教科書				メディア利用	
All Aboard!! English Communication Ⅰ（東京書籍）				あり	
学習目標					
日常的・社会的な話題について多くの支援を活用すれば、 1. 必要な情報を聞き取り、話し手の糸を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 2. 必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 3. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。 4. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持などを論理的に注意して話して伝えることができる。 5. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持などを論理的に注意して文章を書いて伝えることができる。					
添削課題	回数	締切	学習のねらい、内容など	放送視聴 対応教科書ページ	報告課題 (確認テスト)
	第1回	1/13	Lesson 6、7、8の新出単語、語句を理解する。	78-87 88-97 98-107	Lesson 6 Lesson 7 Lesson 8
	第2回	1/13	江戸時代の浮世絵師、歌川国芳についてのスピーチを通して浮世絵と現代マンガの関連性について考える。アンネ・フランクの生活と日記について紹介する授業を通して、生きることの意味について考える。ロボットカフェを紹介する実況中継を通して、ロボットの可能性について考える。	78-87 88-97 98-107	Lesson 6 Lesson 7 Lesson 8
	第3回	1/13	受け身：〈be動詞＋過去分詞〉、比較表現：〈-er〉 〈the -est〉 〈as＋原級＋as〉、現在完了形：〈have[has]＋過去分詞〉を用いた文の形・意味・用法を理解し、指示された英文を作成する。	78-87 88-97 98-107	Lesson 6 Lesson 7 Lesson 8
	第4回	1/13	Lesson 9、Lesson 10、Reading 2の新出単語、語句を理解する。	112-121 122-131 132-137	Lesson 9 Lesson 10 Reading 2
	第5回	1/13	プラスチックごみによる環境汚染と戦うインドネシアの姉妹の活動を学習する。第二次世界大戦によって疲弊した沖縄とハワイ在住の沖縄出身日系アメリカ人からの援助や、両地域の現在の交流について学習する。家ごと大竜巻に飛ばされて不思議なオズの国に降り立ったドロシーと愛犬のトトが、自分の家にたどりつくまでの冒険物語を読み、場面や登場人物の心情を読み取る。	112-121 122-131 132-137	Lesson 9 Lesson 10 Reading 2
	第6回	1/13	関係代名詞who, whichを用いた文、名詞を後ろから説明する分詞の形・意味・用法を理解し、指示された英文を作成する。	112-121 122-131 132-137	Lesson 9 Lesson 10 Reading 2
面接指導日	回数	学習のねらい、内容など			日程
	第1回	学習の進め方、添削課題の取り組み（進捗状況の確認）、試験の取り組み方について			別途コース別時間割による
	第2回	音読指導等			別途コース別時間割による
	第3回	音読指導等			別途コース別時間割による
	第4回	音読指導等			別途コース別時間割による
	第5回	音読指導等			別途コース別時間割による
	第6回	添削課題の取り組み（進捗状況の確認）、試験の取り組み方について			別途コース別時間割による
	第7回	英作文指導（受け身、比較）等			別途コース別時間割による
	第8回	英作文指導（関係代名詞who、which）等			別途コース別時間割による
単位認定試験		評価方法・学習のポイントなど			
あり		試験範囲 p 78～137 学習のポイント 各レッスンの内容・新出単語・文法事項を確認しておく			

令和7年度 通信教育実施計画						
学年	学期	コース	教科	科目	単位数	
3	後期	週1	外国語	英語コミュニケーションⅡ	2	
教科書				メディア利用		
All Aboard!! English Communication Ⅱ（東京書籍）				あり		
学習目標						
日常的・社会的な話題について、一定の支援を活用すれば、 1. 必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 2. 必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 3. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。 4. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。 5. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。						
添削課題	回数	締切	学習のねらい、内容など		放送視聴 対応教科書ページ	報告課題 （確認テスト）
	第1回	1/13	Lesson 6、Lesson 7、 Lesson 8の新出単語や語句を理解する。		78-91 92-105 106-119	Lesson 6 Lesson 7 Lesson 8
	第2回	1/13	動詞の目的語になるif節を用いた文の形・意味を理解している。また、京野菜について学んだり、京野菜のポスターに書かれた事柄や地元の有名な場所やものについて調べた事柄を整理・理解する。関係副詞where、whenを用いた文の形・意味を理解している。また、世界中で壁画を描く活動について学んだり、外国の人々と交流する方法について調べた事柄を整理・理解する。知覚動詞を用いた文の形・意味を理解している。また、生物模倣について学んだり、自然界のデザインをヒントに開発された製品について調べた事柄を整理・理解する。		78-91 92-105 106-119	Lesson 6 Lesson 7 Lesson 8
	第3回	1/13	知覚動詞、関係副詞：where、when、動詞の目的語になるif節の形・意味を理解し、指示された英作文を作成する。		78-91 92-105 106-119	Lesson 6 Lesson 7 Lesson 8
	第4回	1/13	Lesson 9、Lesson 10、Reading 2の新出単語や語句を理解する。自分で調べた事柄を用いて、考えや理由などを話して伝え合う技能を身につける。		120-133 134-147 148-155	Lesson 9 Lesson 10 Reading 2
	第5回	1/13	使役動詞を用いた文の形・意味を理解している。また、チョコレートをめぐる社会問題とその解決策について学んだり、その問題について調べた事柄を整理・理解する。分詞構文を用いた文の形・意味を理解している。また、ナイチンゲールの生涯について学んだり、人を助ける職業について調べた事柄を整理・理解している。自分たちで結末を考えた、英語で書かれたBear's Pieの内容を理解する。また、登場人物の気持ちが聞いている者に伝わるように、朗読する知識を身につける。		120-133 134-147 148-155	Lesson 9 Lesson 10 Reading 2
	第6回	1/13	使役動詞、分詞構文などの英作文を作成する。		120-133 134-147 148-155	Lesson 9 Lesson 10 Reading 2
面接指導日	回数	学習のねらい、内容など				日程
	第1回	学習の進め方、添削課題の取り組み（進捗状況の確認）、試験の取り組み方について				別途コース別時間割による
	第2回	音読指導等				別途コース別時間割による
	第3回	音読指導等				別途コース別時間割による
	第4回	音読指導等				別途コース別時間割による
	第5回	音読指導等				別途コース別時間割による
	第6回	添削課題の取り組み（進捗状況の確認）、試験の取り組み方について				別途コース別時間割による
	第7回	音読指導等				別途コース別時間割による
	第8回	音読指導等				別途コース別時間割による
単位認定試験		評価方法・学習のポイントなど				
あり		試験範囲 p 78～155 学習のポイント 各レッスンの内容・新出単語・文法事項を確認しておく				

令和7年度 通信教育実施計画					
学年	学期	コース	教科	科目	単位数
2	後期	週1	家庭	家庭総合	2
教科書				メディア利用	
高等学校 家庭総合 自立 共生 創造（東京書籍）				あり	
学習目標					
生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習を通して、様々な人々と協働し、よい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。（１）人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。（２）家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。（３）様々な人々と協働し、よい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。					
添削課題	回数	学習のねらい、内容など		放送視聴 対応教科書ページ	報告課題 （確認テスト）
	第1回	12月5日	第6章：食生活をつくる 第7章：衣生活をつくる 【知識・技能】	p.104-159 p.160-179	第6章確認テスト
	第2回	12月19日	第8章：住生活をつくる 第9章：経済生活を営む 第10章：持続可能な生活を営む 【知識・技能】	p.202-229 p.230-251 p.252-261	第7章確認テスト
	第3回	12月19日	第6章～第10章の内容についての 知識や技術を活用し問題解決や自己表現をする 【思考力・判断力・表現力】	p.104-159、p.160-179 p.202-229、p.230-251 p.252-261	第8章確認テスト
	第4回	1月7日	第7章の内容について 生活課題を見つけ、それを解決するための実践活動 を計画する 【主体的】	p.160-179	第9章確認テスト
面接指導日	回数	学習のねらい、内容など			日程
	第1回	家庭総合について、科目の概要、添削課題や学習の進め方について説明する。			別途コース別時間割 による
	第2回	第7章 衣生活をつくる 被服製作実習を通して、日常生活に役立つ技術を習得する			別途コース別時間割 による
	第3回	第7章 衣生活をつくる 被服製作実習を通して、日常生活に役立つ技術を習得する			別途コース別時間割 による
	第4回	期末試験に向けて、要点や学習の進め方について説明する。			別途コース別時間割 による
単位認定試験		評価方法			
期末（1月）試験あり （試験範囲、時間割は2週間前に発表）		試験、添削課題、他提出物や面接指導日の学習態度などを総合的に判断し、5段階評価する。なお、観点別評価については試験、添削課題における＜思考力・判断力・表現力＞＜主体的に学習に取り組む態度＞の各観点の到達度から評価する			

令和7年度 通信教育実施計画					
学年	学期	コース	教科	科目	単位数
無	後期	週1・ オンライン	理科	科学と人間生活	2
教科書				メディア利用	
科学と人間生活（002：東書 科人／701）				あり	
学習目標					
・ 自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。					
・ 観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養う。					
・ 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。					
添削課題	回数	ページ	学習のねらい、内容など	放送視聴 対応教科書ページ	報告課題 （確認テスト）
	第1回		①身のまわりの微生物に興味・関心を持つ。 ②微生物の種類を理解する。 ③生態系における微生物のはたらきを理解する。 ④微生物の発見の歴史について理解する。 ⑤食品や医薬品と微生物の関わりについて理解する。	14-37	1 編 1 章確認テスト
	第2回		①身のまわりの金属やプラスチックに興味・関心を持つ。 ②リサイクルについて理解する。 ③金属の性質と再利用について理解する。 ④プラスチックの性質と再利用について理解する。	66-93	2 編 1 章確認テスト
	第3回		①可視光線を含む電磁波の性質や利用に興味・関心を持つ。 ②光の性質について理解する。 ③光のスペクトルについて理解する。 ④色の見え方について理解する。 ⑤電磁波の性質と利用について理解する。	116-137	3 編 1 章確認テスト
	第4回		①熱やエネルギーに興味・関心を持ち、②熱運動と温度について理解する。 ③熱量の保存について理解する。 ④熱の伝わり方について理解する。 ⑤エネルギーの変換や、⑥エネルギーの有効利用について理解する。	138-157	3 編 2 章確認テスト
	第5回		①暦や潮汐、大気や海洋の循環に興味・関心を持つ。 ②太陽層と太陽層について理解するとともに、③潮位が変動するしくみについて理解する。 ④太陽の活動について理解する。 ⑤大気と海洋の循環について理解する。 ⑥大気の運動と気象災害について理解する。	158-179	4 編 1 章確認テスト
	第6回		①身近な自然景観や、自然災害と防災に興味・関心を持つ。 ②さまざまな自然景観と、それらの成り立ちについて理解する。 ③さまざまな自然災害と防災について理解する。 ④天気予報や緊急地震速報について知り、自然災害との付き合い方について理解する。	180-207	4 編 2 章確認テスト
面接指導日	回数	学習のねらい、内容など			日程
	第1回	ガイダンス 学習の進め方、添削課題の取り組み（進捗状況の確認）、試験の取り組み方についてのガイダンスを行う。			※日程はコースのスケジュールによる
	第2回	実験① アルコール発酵 酵母によるアルコール発酵について理解を深める。			※日程はコースのスケジュールによる
	第3回	実験② 簡易分光器の作成 科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する態度を身に付ける。			※日程はコースのスケジュールによる
	第4回	実験の振り返り・まとめ 実験を題材に、科学的に探究しようとする態度を身につけ、科学に対する興味・関心を高める。			※日程はコースのスケジュールによる
単位認定試験		評価方法			
期末（1月） 試験あり （試験範囲、時間割は2週間前に発表）		試験、添削課題、他提出物や実験への取り組み、平素の学習態度などを総合的に判断し5段階評価する。 知識技能：試験、添削課題 思考力・判断力・表現力：試験、添削課題にある＋α問題など 主体的に学習に取り組む態度：実験への取り組みの様子、ノートや各種成果物を総合的に評価			

令和7年度 通信教育実施計画					
学年	学期	コース	教科	科目	単位数
2	後期	週1	国語	言語文化	2
教科書					
新編言語文化（東京書籍）					
学習目標					
(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。(2) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。					
添削課題	回数	締め切り	学習のねらい、内容など	放送視聴 対応教科書ページ	報告課題 (確認テスト)
	第1回	12月17日	「さくらさくら」ほか 随筆を読んで、筆者のものの見方や感じ方を読み取る。	10～35	1 随筆確認テスト
	第2回	12月17日	「詩歌」ほか 詩や短歌、俳句に親しみ、深く読み味わう力を養う。	50～65	
	第3回	12月17日	「羅生門」ほか 描かれている内容から主題を読み取り、小説を深く味わう。	72～116	3 詩歌 確認テスト 4 小説 2 確認テスト 5 小説 3 確認テスト
	第4回	1月14日	「徒然草」ほか 古文の表現に慣れ、随筆に表れた作者の考えを、叙述を基に捉える。	138～163	2 随筆確認テスト
	第5回	1月14日	「伊勢物語」ほか 文章の展開や表現の特色に注目しながら物語を読み味わう。	170～195	
	第6回	1月14日	「漢文入門」ほか 漢文の特色を知り、きまりを確認するとともに、格言や故事成語を読んで、漢文の世界に親しむ。	210～253	1 漢文入門確認テスト 2 漢詩 確認テスト 3 論語 確認テスト 4 史話 確認テスト
面接指導日	回数	学習のねらい、内容など			日程
	第1回	学習の進め方、添削課題の取り組み（進捗状況の確認）、試験の取り組み方について			別途コース別時間割による
	第2回	学習の進め方、添削課題の取り組み（進捗状況の確認）、試験の取り組み方について			別途コース別時間割による
単位認定試験		評価方法			
期末（2月） 試験あり （試験範囲、時間割は2週間前に発表）		試験、小テスト、添削課題、他の提出物や平素の学習態度などを総合的に判断し、5段階評価する。なお、観点別評価について＜知識・技能＞試験、添削課題、小テストなど＜思考力・判断力・表現力＞試験、添削課題にある＋α問題など＜主体的に学習に取り組む態度＞ノートや各種成果物を総合的に評価			

令和7年度 通信教育実施計画					
学年	学期	コース	教科	科目	単位数
2	後期	週1	公民	公共	2
教科書				メディア利用	
公共（東京書籍）				あり	
学習目標					
社会の諸課題に関心を持ち、主体的に考え行動しようとする態度を育てる。また、情報を正確に読み取り、多面的・多角的に考え、他者と議論・協議しながら問題の解決に向けて思考を深める力を養う。個人の自由と社会のルールとの関係を理解し、公共の利益や正義を重視する倫理的態度や規範意識を身につける。					
添削課題	回数	締切	学習のねらい、内容など		備考 教科書ページ等
	第1回	12/17	内容：青年期、宗教、功利主義、生命倫理、環境倫理など 青年期の特徴を理解させ、青年期における自己形成の課題を考えさせる。現代の諸課題について、多角的な視野を持ち他者と共同で解決する能力を育む。		10 - 54
	第2回	12/17	内容：民主政治、地方自治、国会、内閣など 国会、内閣、裁判所などや選挙の制度、政党の役割などを学ぶことで、民主政治がどのように成り立ち、運営されているかを理解する。		58 - 80
	第3回	12/17	内容：第1回、第2回分の記述式 既習の内容について、総括的に振り返り、自分の意見や考えを確立する。また、持論について論理的に説明する能力を育む。		10 - 80
	第4回	1/14	内容：法と社会規範、市民生活と私法、国民の司法参加など 法の必要性や法の社会的意義を理解する。また裁判員制度などを通じ、主権者としての責任意識や法に基づく判断力を育てる。		84 - 108
	第5回	1/14	内容：市場経済、資本主義の歴史、金融、財政など 市場経済、金融、財政などのしくみや課題を学ぶことで、よりよい社会のあり方や政策について主体的に考え、意見を持つ力を養う。		112 - 156
	第6回	1/14	内容：第4回、第5回分の記述式 既習の内容について、総括的に振り返り、自分の意見や考えを確立する。また、持論について論理的に説明する能力を育む。		84 - 156
面接指導日	回数	学習のねらい、内容など			日程
	第1回	第1部 第1章 2節 社会的な関係のなかで生きる人間 「個人」と「社会」の二面性から人間の在り方について考察し、社会生活を営むうえで、より適した生き方を模索する。			11/19
	第2回	第2部 第2章 法や規範の意義と役割 法や社会規範が持つ役割や機能について学ぶとともに、それらが私たちの生活にどのようにかわるのかを考える。			12/17
単位認定試験		評価方法			
期末試験あり （試験範囲、時間割は2週間前に発表）		試験、添削課題、他提出物や面接指導日の学習態度などを総合的に判断し、5段階評価する。			

令和7年度 通信教育実施計画					
学年	学期	コース	教科	科目	単位数
無	後期	週1	情報	情報Ⅰ	2
教科書				メディア利用	
新編情報Ⅰ				あり	
学習目標					
情報に関する科学的な見方・考え方を重視し、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用するための知識および技能を身に付け、実際に活用する力を養うとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。					
添削課題	回数	締切	学習のねらい、内容など	放送視聴 対応教科書ページ	報告課題 (確認テスト)
	第1回	1月16日	情報の特性やメディアの特徴、問題解決における情報技術の活用を学ぶ。情報社会のモラルや法規、個人情報の扱い、SNSの危険性を理解し、著作権や引用のルールを習得。さらに、新しい情報技術の進展やサイバー犯罪、健康への影響について学習する。	6-25	1章確認テスト
	第2回	1月16日	メディアの変遷や特性、ソーシャルメディアやネットコミュニケーションの特徴を学ぶ。デジタルデータの仕組みやメリット・デメリット、情報のデジタル表現や圧縮を理解する。情報デザインやユニバーサルデザイン、ユーザインタフェースについて学習する。	34-51	2章確認テスト
	第3回	1月16日	コンピュータの基本構成やハードウェア・ソフトウェアの仕組みを理解し、演算や処理回路について学ぶ。さらに、アルゴリズムの必要性や表現方法、プログラムの作成や制御構造について学習する。	62-81	3章確認テスト
	第4回	1月16日	情報通信ネットワークの基礎、プロトコル（TCP/IP）を学ぶ。ネットワークハードウェアやサーバ、IPアドレス、DNSの役割を理解し、インターネットやWWW、電子メールについて学習する。さらに、情報セキュリティの確保方法やデータ・データベースの役割と活用例を学ぶ。	90-112	4章確認テスト
	第5回				
	第6回				
面接指導日	回数	学習のねらい、内容など			日程
	第1・2回	文書処理ソフトウェアの操作。文書処理ソフトウェアについて、書式の設定や配置の変更など、基本的な操作を学習する。文書処理ソフトウェアで図、表、画像を利用する方法を学習する。ディレクトリやファイルの操作について学習する。			11月14日
	第3・4回	表計算ソフトウェアの操作。表計算ソフトウェアの書式の設定や配置の変更など、基本的な操作を学習する。表計算ソフトウェアでの数式の利用を学習する。表計算ソフトウェアでの関数の利用を学習する。			1月9日
単位認定試験		評価方法・学習のポイントなど			
無し		添削課題や面接指導日の学習態度などを総合的に判断し、5段階評価する。なお、観点別評価については添削課題における各観点の到達度から評価する。			

令和7年度 通信教育実施計画					
学年	学期	コース	教科	科目	単位数
3	後期	週1	数学	数学A	2
教科書				メディア利用	
新数学A（東京書籍）				あり	
学習目標					
“数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 図形と計量，2次関数についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2) 図形の構成要素間の関係に着目し，図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力，関数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を表，式，グラフを相互に関連付けて考察する力を養う。 (3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。”					
添削課題	回数	締切	学習のねらい、内容など	放送視聴 対応教科書ページ	報告課題 (確認テスト)
	第1回	12月 5 日	1 章 場合の数と確率 1 節 場合の数 1 集合 2 集合の要素の個数 3 個数の数え方 4 和の法則と箱の法則【知識・技能】	P 4 ～P11	—
	第2回	12月 5 日	5 順列 7 いろいろな順列 8 組合せ【知識・技能】	P12～P13 P16～P19	—
	第3回	12月 5 日	6 順列の応用 9 組合せの応用【思考・判断・表現力】	P14～P15 P20～P21	—
	第4回	1月13日	2 節 確率 1 事象と確率 2 確率の計算 3 排反事象の確率 4 余事象の確率【知識・技能】	P22～P29	—
	第5回	1月13日	5 独立試行の確率 6 反復試行の確率 7 条件つき確率 【思考・判断・表現力】	P30～P35	—
	第6回	1月13日	8 期待値 第4回復習 【知識・技能】 【主体的に取り組む態度】	P22～P29 P36～P37	1 章確認テスト
面接指導日	回数				日程
	第1回	評価方法の説明、レポート第1回～第3回の学習方法			別途コース別 時間割による
	第2回	単位認定試験の学習方法、レポート第4回～第6回の学習方法			別途コース別 時間割による
単位認定試験		評価方法・学習のポイントなど			
期末試験（1月） （試験範囲、時間割は2週間前に発表）		試験、添削課題、他提出物や平素の学習態度などを総合的に判断し、5段階評価する。 なお、観点別評価について ＜知識技能＞試験、添削課題 ＜思考力・判断力・表現力＞試験、添削課題 ＜主体的に学習に取り組む態度＞添削課題、ノート・ワーク提出で評価する。			

令和7年度 通信教育実施計画					
学年	学期	コース	教科	科目	単位数
1	後期	週1	保健体育	体育	2
教科書				メディア利用	
現代高等保健体育（大修館書店）				なし	
学習目標					
体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習 過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成することを目指す。 (1)各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。 (2)運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 (3)生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。					
添削課題	回数	締め切り	学習のねらい、内容など	放送視聴 対応教科書ページ	報告課題 (確認テスト)
	第1回	12月22日	スポーツが経済に及ぼす影響	p.148～149	なし
	第2回	1月23日	スポーツと環境	p.154～155	なし
	第3回				
	第4回				
	第5回				
	第6回				
面接指導日	回数	学習のねらい、内容など			日程
	第1.2回	体づくり運動、球技（ゴール型）			11月10日
	第3.4回	球技（ゴール型）			11月17日
	第5.6回	球技（ゴール型）			12月1日
	第7.8回	球技（ネット型）			12月15日
	第9.10回	球技（ネット型）			1月19日
単位認定試験		評価方法			
なし		添削課題や面接指導日の学習態度（意欲、身だしなみなど）、授業内の試技を総合的に判断し、5段階評価する。なお、観点別評価についても添削課題および平常点における各観点の到達度から評価する。			

令和7年度 通信教育実施計画						
学年		学期	コース	教科	科目	単位数
2		後期	週1	保健体育	体育	2
教科書					メディア利用	
現代高等保健体育（大修館書店）					なし	
学習目標						
体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習 過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成することを目指す。 (1)各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。 (2)運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 (3)生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。						
添削課題	回数	締め切り	学習のねらい、内容など		放送視聴 対応教科書ページ	報告課題 (確認テスト)
	第1回	12月22日	スポーツにおける技術と戦術		p.160～161	なし
	第2回	1月23日	技能の上達課程と練習		p.164～165	なし
	第3回					
	第4回					
	第5回					
	第6回					
面接指導日	回数	学習のねらい、内容など				日程
	第1.2回	体づくり運動、球技（ゴール型）				11月10日
	第3.4回	球技（ゴール型）				11月17日
	第5.6回	球技（ゴール型）				12月1日
	第7.8回	球技（ネット型）				12月15日
	第9.10回	球技（ネット型）				1月19日
単位認定試験			評価方法			
なし			添削課題や面接指導日の学習態度（意欲、身だしなみなど）、授業内の試技を総合的に判断し、5段階評価する。なお、観点別評価についても添削課題および平常点における各観点の到達度から評価する。			

令和7年度 通信教育実施計画						
学年		学期	コース	教科	科目	単位数
3		後期	週1	保健体育	体育	1
教科書					メディア利用	
現代高等保健体育（大修館書店）					なし	
学習目標						
体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習 過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成することを目指す。 (1)各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。 (2)運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 (3)生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。						
添削課題	回数	締め切り	学習のねらい、内容など		放送視聴 対応教科書ページ	報告課題 (確認テスト)
	第1回	12月19日	生涯スポーツ、豊かなスポーツライフについて		P.182～199	なし
	第2回					
	第3回					
	第4回					
	第5回					
	第6回					
面接指導日	回数	学習のねらい、内容など				日程
	第1.2回	体づくり運動、球技（ゴール型）				11月10日
	第3.4回	球技（ゴール型）				11月17日
	第5回	球技（ゴール型）				12月1日
単位認定試験			評価方法			
なし			添削課題や面接指導日の学習態度（意欲、身だしなみなど）、授業内の試技を総合的に判断し、5段階評価する。なお、観点別評価についても添削課題および平常点における各観点の到達度から評価する。			

令和7年度 通信教育実施計画						
学年		学期	コース	教科	科目	単位数
3		後期	週1	保健体育	体育	2
教科書					メディア利用	
現代高等保健体育（大修館書店）					なし	
学習目標						
体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習 過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成することを目指す。 (1)各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。 (2)運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 (3)生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。						
添削課題	回数	締め切り	学習のねらい、内容など		放送視聴 対応教科書ページ	報告課題 (確認テスト)
	第1回	12月19日	生涯スポーツ		P.182～199	なし
	第2回	1月9日	豊かなスポーツライフ		P.182～200	なし
	第3回					
	第4回					
	第5回					
	第6回					
面接指導日	回数	学習のねらい、内容など				日程
	第1.2回	体づくり運動、球技（ゴール型）				11月10日
	第3.4回	球技（ゴール型）				11月17日
	第5.6回	球技（ゴール型）				12月1日
	第7.8回	球技（ネット型）				12月15日
	第9.10回	球技（ネット型）				1月19日
単位認定試験			評価方法			
なし			添削課題や面接指導日の学習態度（意欲、身だしなみなど）、授業内の試技を総合的に判断し、5段階評価する。なお、観点別評価についても添削課題および平常点における各観点の到達度から評価する。			

令和7年度 通信教育実施計画					
学年	学期	コース	教科	科目	単位数
3	後期	週1	保健体育	体育	3
教科書				メディア利用	
現代高等保健体育（大修館書店）				なし	
学習目標					
体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習 過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成することを目指す。 (1)各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。 (2)運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 (3)生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。					
添削課題	回数	締め切り	学習のねらい、内容など	放送視聴 対応教科書ページ	報告課題 (確認テスト)
	第1回	12月19日	生涯スポーツ	P.182～199	なし
	第2回	1月9日	豊かなスポーツライフ	P.182～200	なし
	第3回	1月9日	スポーツを推進する取り組み	P.190～P.193	なし
	第4回				
	第5回				
	第6回				
面接指導日	回数	学習のねらい、内容など			日程
	第1回～3回	マット運動			10月23日
	第4.5回	体づくり運動、球技（ゴール型）			11月10日
	第6.7.8回	マット運動			11月11日
	第9.10回	球技（ゴール型）			11月17日
	第11回～13回	球技（ネット型）			11月28日
	第14.15回	球技（ネット型）			12月1日
単位認定試験		評価方法			
なし		添削課題や面接指導日の学習態度（意欲、身だしなみなど）、授業内の試技を総合的に判断し、5段階評価する。なお、観点別評価についても添削課題および平常点における各観点の到達度から評価する。			

令和7年度 通信教育実施計画						
学年	学期	コース	教科	科目	単位数	
1	後期	週1	地理歴史	地理総合	2	
教科書				メディア利用		
地理総合（東京書籍）				あり		
学習目標						
地図や統計などを活用して情報を読み解き、多様な地域の理解を深める。また、様々な地域や地球環境について学ぶことで、地域や環境の特徴を多面的・多角的に捉える力を育てる。						
添削課題	回数	締切	学習のねらい、内容など		放送視聴 対応教科書ページ	報告課題 (確認テスト)
	第1回	12/22	地図、GISなどを活用して情報を読み解いたり、比較・分析する技能を身につける。		5-36	1編1・2章 確認テスト
	第2回	12/22	統計資料、グラフなどを読み解き、現代世界の国家群や貿易、交通、情報通信、観光などを多面的に学ぶ。		37-67	1編3章 確認テスト
	第3回	12/22	日本と世界の地域の特色を比較しながら、文化、自然、産業、生活様式の多様性や共通性を理解する。		68-91	
	第4回	1/16	地球的課題（気候変動・資源・人口問題など）や地域的課題（災害・少子高齢化など）に関心をもち、持続可能な社会づくりに主体的に関わろうとする態度を養う。		92-135	2編1章 確認テスト
	第5回	1/16	地球的課題（気候変動・資源・人口問題など）や地域的課題（災害・少子高齢化など）に関心をもち、持続可能な社会づくりに主体的に関わろうとする態度を養う。		136-172	2編2章 確認テスト
	第6回	1/16	自然災害について学ぶことで、地理的仕組みを理解し、自ら進んで行動する防災意識を育む。		173-217	3編1章 確認テスト
面接指導日	回数	学習のねらい、内容など			日程	
	第1回	地図、GISなどを活用して情報を読み解いたり、比較・分析する技能を身につける。			11/28	
	第2回	地球的課題（気候変動・資源・人口問題など）や地域的課題（災害・少子高齢化など）に関心をもち、持続可能な社会づくりに主体的に関わろうとする態度を養う。			11/28	
単位認定試験		評価方法・学習のポイントなど				
期末（2月） 試験あり (試験範囲、時間割は2週間前に発表)		試験、添削課題、他提出物の取り組み、平素の学習態度などを総合的に判断し5段階評価する。 知識技能：試験、添削課題 思考力・判断力・表現力：試験、添削課題にある＋α問題など 主体的に学習に取り組む態度：実験への取り組みの様子、ノートや各種成果物を総合的に評価				

令和7年度 通信教育実施計画						
学年	学期	コース	教科	科目	単位数	
3	後期	週1	芸術	美術Ⅰ	2	
教科書				メディア利用		
高校生の美術 1				なし		
学習目標						
基礎をはじめ、幅広い創作活動を行うことで、美的体験を重ね、生活や社会などで生かせる知識技能を養う。 具体的には、対象や事象をとらえる視点や造形的な良さを発見し、表現に生かせる力や生涯にわたり美術を愛好する心情、豊かな社会生活を創造する力を育ませたい。						
添削課題	回数	締め切り	学習のねらい、内容など		放送視聴 対応教科書ページ	報告課題 (確認テスト)
	第1回	11月21日	さまざまな描画材 絵を描くための描画材の種類について学習し、それぞれの性質や特徴を理解し、特に制作で用いることが多い色鉛筆の幅広い表現方法を学習する。		—	—
	第2回	11月21日	美の秩序 構成美について学ぶ シンメトリー(対称)、リピティション(繰り返し)、グラデーション(階調)、アクセント(強調)		—	—
	第3回	11月21日	三原色の学習 色光と色料の三原色について学ぶ。シアン、イエロー、マゼンタの三色を用いて三原色のチャートを完成させる。		—	—
	第4回	1月9日	三原色を用いて着彩を行う 第3回で学習したことを踏まえて、色料の三原色のみで絵を描かせる。三原色で自分の作りたい色を的活に作る力を養う。		—	—
	第5回	1月9日	手のデッサン 鉛筆の種類の違いや陰影や質感などの表現方法を学ぶ。		—	—
	第6回	1月9日	手のデッサン 手の形にフォーカスを当てて、手が持つさまざまな表現方法について学ぶ。		—	—
面接指導日	クラス	9組				
	第1回	レポート第1回、第2回の実施				11月7日
	第2回					
	第3回	レポート第3回、第4回の実施				11月21日
	第4回					
	第5回	レポート第5回、第6回の実施				12月19日
	第6回					
	第7回	レポート第5回、第6回の実施				1月9日
	第8回					
単位認定試験		評価方法				
無し		平素の学習への取り組み、提出されたレポートの完成度(技術力・理解力・表現力・独創性)などを総合的に評価する。				

令和7年度 通信教育実施計画					
学年	学期	コース	教科	科目	単位数
3	後期	週1	国語	文学国語	2
教科書				メディア利用	
文学国語（東京書籍）				あり	
学習目標					
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語や文化に対する理解を深めることを目指す。①深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。②言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。					
添削課題	回数	締め切り	学習のねらい、内容など	放送視聴 対応教科書ページ	報告課題 （確認テスト）
	第1回	12月15日	「国語から旅立って」ほか 随筆を読んで筆者の経験や思いを捉え、言葉と自分との関わりについて考える。	190～216	Ⅱ部 1 確認テスト② Ⅱ部 2 確認テスト①
	第2回	12月15日	「コンビニの母」ほか 小説における場面の描写を表現に即して捉え、そこに描かれた世界について考える。	217～246	Ⅱ部 2 確認テスト② Ⅱ部 3 確認テスト① Ⅱ部 3 確認テスト②
	第3回	12月15日	「空っぽの瓶」ほか 随筆を読んで優れた表現や叙述の仕方を理解し、感性や心情を豊かにする。	248～290	Ⅱ部 4 確認テスト① Ⅱ部 4 確認テスト② Ⅱ部 5 確認テスト① Ⅱ部 5 確認テスト②
	第4回	1月13日	「舞姫」ほか 文語文で書かれた小説を読み、人間の生き方について考えを深める。	292～328	Ⅱ部 6 確認テスト① Ⅱ部 6 確認テスト②
	第5回	1月13日	「演技する「私」」ほか 評論に示された筆者の論を精査し、芸術作品のありようについて考える。	330～346	Ⅱ部 7 確認テスト① Ⅱ部 7 確認テスト②
	第6回	1月13日	「葉桜と魔笛」ほか 多様な表現方法を用いて書かれた小説を読み、それぞれの作品世界を味わう。	348～371	Ⅱ部 8 確認テスト① Ⅱ部 8 確認テスト②
面接指導日	回数	学習のねらい、内容など			日程
	第1回	学習の進め方、添削課題の取り組み（進捗状況の確認）、試験の取り組み方について			別途コース別時間割による
	第2回	学習の進め方、添削課題の取り組み（進捗状況の確認）、試験の取り組み方について			別途コース別時間割による
単位認定試験		評価方法			
期末（1月） 試験あり （試験範囲、時間割は2週間前に発表）		試験、小テスト、添削課題、他の提出物や平素の学習態度などを総合的に判断し、5段階評価する。なお、観点別評価について＜知識・技能＞試験、添削課題、小テストなど＜思考力・判断力・表現力＞試験、添削課題にある＋α問題など＜主体的に学習に取り組む態度＞ノートや各種成果物を総合的に評価			